

(記入例4) 就職等により、普通徴収(本人納付)から特別徴収(給与天引き)に切り替える場合

給与支払報告
特別徴収にかかるとなる給与所得者異動届出書

(1) 異動があった場合は、すみやかに提出してください。

平成XX年XX月XX日	〒123-4567	特別徴収義務者 指定番号	0001234567
(あて先) ○○長	所在地 ○○市△△町1番地	担当者 係	給与係
	名称 ○○株式会社	氏名	△△ △△
	代表者の 職氏名印	電話	000-000-0000

提出先市町村の特別徴収義務者である場合は、その指定番号を記入してください。

就職等の異動があった方について記入してください。

異動届出書の内容について応答できる方の氏名等を記入してください。

給与所得者	特別徴収税額 (年税額)	徴収済額	未徴収税額 (7)-(4)	異動 年月日	異動事由	(ウ)の未徴収税額 の徴収方法	1月 退給 給与支払額
フリガナ コウツ タロウ 氏名 甲乙 太郎 (旧姓) 甲大 55年5月5日生 (1月1日現在の住所を必ず記入願います) 旧住所 ○○市△△町2番地 (給与の支払を受けなくなった後の住所) 現住所 <input type="checkbox"/> 同上 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 ■■市××三丁目3番3号	円	円	円 xx.10.15	10.15	1. 退職 2. 転勤 3. 休業 4. 育児休業 5. 死亡 6. 会社解散 7. 徴収方法変更 8. 就職 9. ()	1. 特別徴収 a. 継続 → [3]欄へ b. 開始 <input checked="" type="radio"/> 10月分 2. 一括徴収 (退職時に全額徴収) 3. 普通徴収 (本人が納付)	3,000,000 2

「旧住所」には1月1日現在の住所を記入してください。

現在の住所が「旧住所」と異なる場合に記入してください。

就職日等、異動のあった日を記入してください。

該当する事由に○をしてください。

「1. 特別徴収」の「b. 開始」に○をし、何月分から徴収を開始するか記入してください。
※徴収月の翌月10日が納期限です。

普通徴収2期分まで納付済み。
税額を○月×日までに連絡ください。

連絡事項等ある場合は備考欄に記入してください。

【1】特別徴収税額(【1】欄の(ウ))について、一括徴収または普通徴収する場合は、1月1日から4月30日の期間に退職される場合は、本人の申出がない場合でも残

1. 一括徴収する場合	異動者印 <input checked="" type="checkbox"/>	給与又は退職手当等の支払予定日 月 日	一括徴収予定額 円	左記徴収予定額 月分 (月10日納期分)
2. 一括徴収できない場合	理由	1. 異動の日が6月1日から12月31日までの間で、本人からの申出がないため 2. 異動の日が1月1日から4月30日までの間で、残税額(上記(ウ)の額)を超える退職金などの支払がないため		

(3) 転勤等による特別徴収届出書

※転勤・再就職等により異動後の勤務先で引続き特別徴収を行う場合、前勤務先で【1】の欄を記入し、新勤務先へ回送願います。新勤務先では、【3】の欄

月割額 円	〒	特別徴収義務者 指定番号	新規
月分から徴収し 納入します。	所在地 名称	担当者 係	
受給者番号	代表者の 職氏名印	氏名	
給与支払方法及びその期日	払込を希望する金融機関の所在地及び名称	電話	